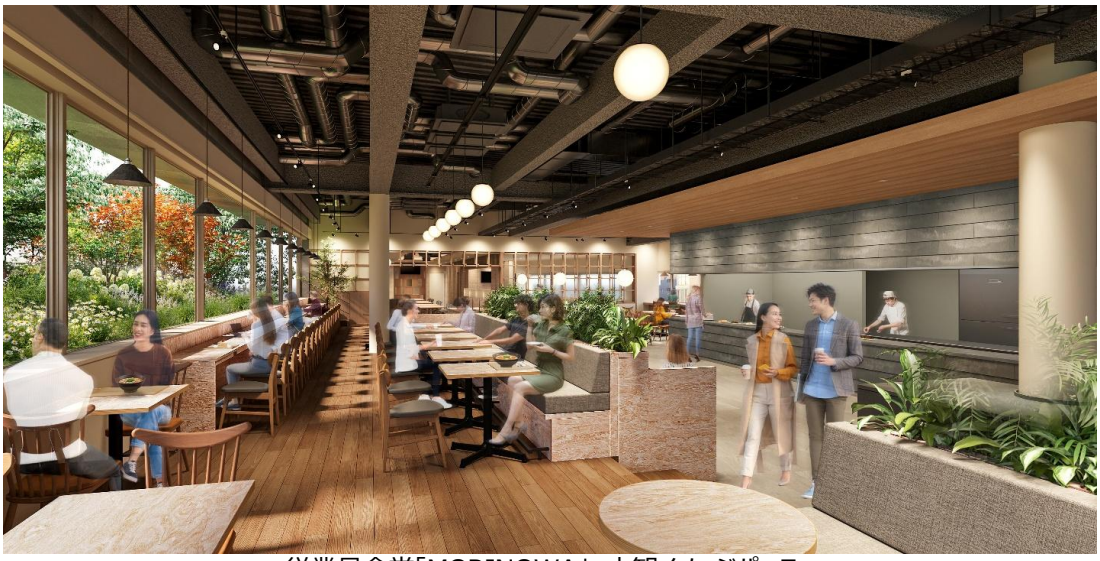
News Release

2026 年 11 月 27 日
株 式 会 社 髙 島 屋
東神開発株式会社

流山おおたかの森 S.C.本館を増築
従業員食堂「MORINOWA」を核に、
働く人・地域・環境をつなぐ新たな交流拠点を 2027 年 3 月開業

株式会社髙島屋（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：村田善郎）の連結子会社である東神開発株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：倉本真祐、以下「東神開発」）は、流山おおたかの森 S.C.で進めている本館増築プロジェクトについて、施設コンセプトや従業員食堂を中心とした主要機能などを決定しましたのでお知らせいたします。なお、本施設は 2027 年 3 月の開業を予定しています。



従業員食堂「MORINOWA」 内観イメージパース

本プロジェクトでは、流山おおたかの森 S.C.で働く約 4,000 人を支える従業員食堂「MORINOWA」を中心に、地域共創活動の拠点、ガーデン空間、屋内菜園、リサイクルステーションなどを整備します。「働く人のウェルビーイング」「地域との共創」「資源循環」の 3 つを柱に、働く人、地域、環境をつなぐ新たな交流拠点を創出します。

東神開発は、従業員食堂「MORINOWA」を中心に、従業員満足度の向上やコミュニティ形成、サステナブルな施設運営につながる取り組みを進めてまいります。

■本プロジェクトの背景

流山おおたかの森 S.C.は、2007 年の開業以来、街の成長とともに施設規模を拡大し、東神開発グループの基幹事業拠点の一つとして成長を続け、2027 年に開業 20 周年を迎えます。それに伴い、専門店で働くテナント従業員数も増加し、休憩や交流の場など、働く環境のさらなる充実が求められています。また、施設の成長とともに、地域とのつながりや環境への配慮など、ショッピングセンターが担う役割も広がっています。こうした背景を受け、本プロジェクトを「働く人」「地域」「環境」をつなぐ新たな価値創造のプロジェクトとして位置付けています。従業員エンゲージメントの向上、SDGs への取り組みの具体化、コミュニティ戦略の推進などを通じて、施設価値のさらなる向上を図ります。

■施設コンセプト

１．働く人のウェルビーイングを支える従業員食堂「MORINOWA」

施設の中心となる従業員食堂「MORINOWA」を、流山おおたかの森 S.C.で働く約 4,000 人の従業員を支える新たな福利厚生拠点として整備します。運営は、髙島屋グループの飲食事業を担う株式会社アール・ティー・コーポレーションが担当します。

同食堂は、髙島屋グループが培ってきた食堂運営の知見を生かし、「食」「利便性」「空間」の 3 つの視点から働く環境の向上に取り組みます。

「食」の面では、栄養バランスに配慮した多彩なメニューを揃えるほか、施設内の「屋内菜園」で栽培したレタスなどの野菜を提供することで、食や健康、環境への関心を高めるきっかけづくりにもつなげます。

「利便性」の面では、モバイルオーダーとキャッシュレス専用券売機を導入する予定です。混雑緩和や待ち時間の短縮につなげ、限られた休憩時間をより有効に過ごせる環境を整えます。

また、「空間」の面では、「森の中に食堂をつくる」という施設コンセプトのもと、内装や家具、什器に木質感や自然素材を積極的に採用します。屋上には流山市の自然環境とのつながりを感じられる屋上ガーデンを設け、一人でゆっくり過ごす時間から従業員同士の交流まで、多様な利用シーンに対応できる空間構成とします。

食事をする場所としてだけでなく、休息や交流の場としても活用することで、働く人々のウェルビーイング向上と従業員同士のつながりの創出をめざします。



従業員食堂「MORINOWA」 内観イメージパース

＜従業員食堂「MORINOWA」の名称について＞

増築棟の中心機能となる従業員食堂の名称「MORINOWA」は、流山おおたかの森 S.C.で働くテナントスタッフおよび東神開発社員から寄せられた 150 件を超える名称案から選定しました。名称募集を通じて、多くの従業員が施設づくりに参画することで、新たな施設への愛着や一体感の醸成につなげていきます。

また、名称には「流山おおたかの森 S.C.で働くすべての人が集い、つながり、明日への活力を育む場所でありたい」という想いが込められています。「森」と、人と人とのつながりを表す「輪」を重ねた名称とすることで、流山おおたかの森 S.C.らしさと、従業員同士のつながりを表現しています。

２．地域にも開かれた、交流・共創を育むコミュニティ拠点

従業員食堂「MORINOWA」は、従業員のための福利厚生施設であると同時に、地域とのつながりを育むコミュニティ拠点をめざしています。2026 年 10 月、流山おおたかの森 S.C.のお客様が集うコミュニティ「おおたかの森 LOOP」の活動の一環として、従業員食堂「MORINOWA」内の壁面アートを制作する共創型ワークショップ「みんなでつくる森と街のウォールアート」を開催し、おおたかの森 LOOP の会員約 50 組にご参加いただきました。ワークショップでは、従業員食堂「MORINOWA」の内装デザインを担当する株式会社乃村工藝社および株式会社サンゲツの見本帳リサイクルセンターから提供された壁紙サンプルやファブリック見本などを活用し、アート作品へと生まれ変わらせるアップサイクルを行いました。参加者の皆さまが制作した作品は、従業員食堂「MORINOWA」内の壁面アートの一部として設置し、コミュニティ活動などを通じて地域の皆さまにもご覧いただく予定です。資源に新たな価値を加えるとともに、地域の皆さまにご参加いただくことで、地域とともにつくり、育てていく施設を象徴する取り組みとなりました。

また、2027 年 3 月からは、本施設の一部を「おおたかの森 LOOP」の新たな活動拠点として展開します。地域住民が担うコミュニティの「リーダー」が主体となったアクティビティや地域交流の場、流山おおたかの森 S.C.の取り組みを発信する拠点として活用し、人と人、人と地域をつなぐ役割も担いながら、地域の皆さまとともに施設を育ててまいります。



ワークショップ「みんなでつくる 森と街のウォールアート」当日の様子

［参考 1］おおたかの森 LOOP 公式サイト https://loop.otakanomori-sc.com/
［参考 2］今回のワークショップの様子は、東神開発 WEB サイトでも紹介しています。
▶「つくる」プロセスから、地域とともに。 流山おおたかの森 S.C.で進む共創の施設づくり
https://www.toshin-dev.co.jp/sustainability/sdgs/1124o/

3．森と循環を体現するサステナブルな施設

本プロジェクトの原点にあるのは、計画初期から掲げてきた「森の中に食堂をつくる」という発想です。流山市が掲げる「森のまち」の理念を取り入れながら、自然との共生や資源循環を身近に感じられる施設づくりを進めています。

・流山の自然を育み、学ぶガーデン空間

施設内には、流山市が推進する「ソデモリ（街全体が森の風景の一部となる）」を体現した、働く人の憩いの場となるガーデン空間を整備します。流山市内に自生する樹木を取り入れ、地域の植生や四季の移ろいを身近に感じられる空間とします。また、植物の成長を通じて自然との関係を学ぶ「緑育」の視点も取り入れ、働く人や来訪者が日常の中で自然に親しみ、学べる場としても活用していきます。



ガーデン空間　イメージパース

・食と農をつなぐ「屋内菜園」

施設内には、千葉県柏市に本社を置く三協フロンテア株式会社が提供する屋内菜園「やさいコバコ」を導入します。栽培したレタスなどの野菜は従業員食堂「MORINOWA」で提供する予定です。また、栽培エリアは地域の皆さまにもご見学いただけるよう計画しており、食育や環境教育にもつながる学びの場として活用していきます。

・資源循環の発信拠点となる「リサイクルステーション」

施設から排出されるごみの分別・回収を通じて、資源循環を促進する拠点として、「リサイクルステーション」を整備します。レコテック株式会社が提供する次世代型計量管理システム「pool」を活用し、施設から排出された資源の回収・再資源化状況を可視化する取り組みを進めます。従業員や地域の皆さまが、自ら分別した資源がどのように循環しているのかを知ることができる環境を整えることで、循環型社会への理解促進と行動変容につなげていきます。

なお、本施設のリサイクルステーションは、2024 年に東神開発が運営する玉川髙島屋 S.C.に導入した取り組みの知見を活かして整備します。流山おおたかの森 S.C.では、従業員や地域の皆さまが循環の仕組みを身近に学び、実践できる場として機能をさらに発展させていきます。資源循環を単なる施設運営上の取り組みにとどめず、地域全体で持続可能なまちづくりを考えるきっかけとなることをめざします。



次世代型計量管理システム「pool」

※写真は玉川髙島屋 S.C.のリサイクルステーションに設置の pool

■今後のビジョン

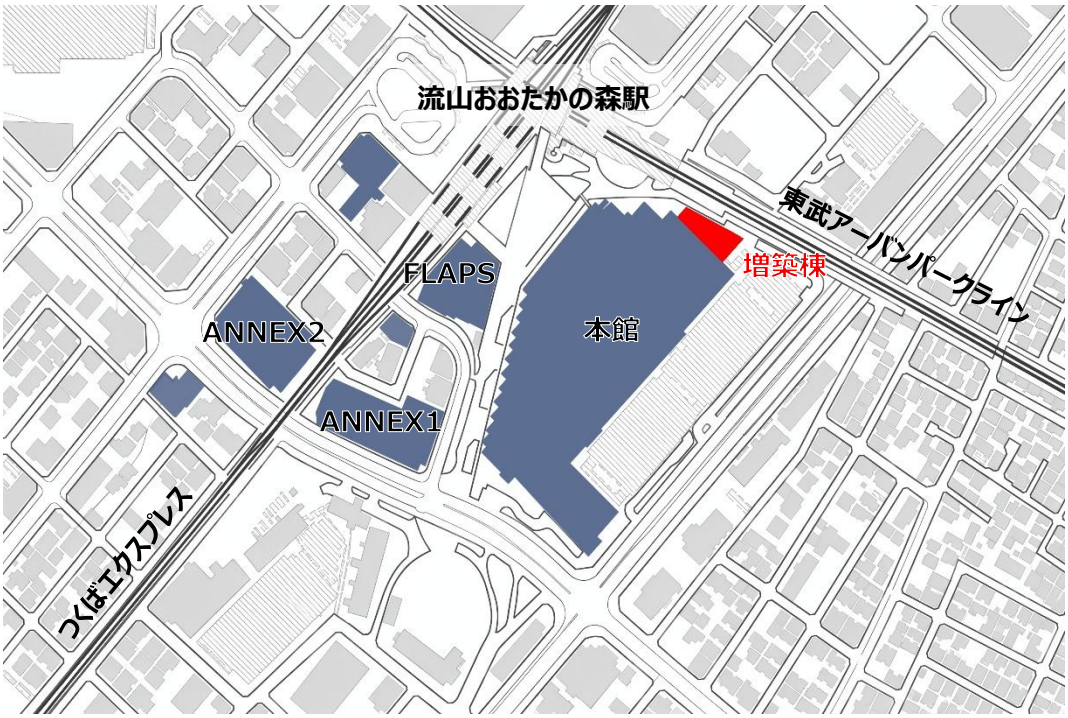
従業員食堂「MORINOWA」、「おおたかの森 LOOP」による地域共創活動、ガーデン空間、屋内菜園、リサイクルステーションを有機的につなぎ、食事や休憩の場にとどまらず、働く人や地域、環境を結ぶ交流拠点として育てていきます。本施設で得られた知見や取り組みを流山おおたかの森 S.C.全体、さらには髙島屋グループ各施設へ展開することで、従業員満足度の向上とサステナブルな施設運営につなげていきます。

東神開発は今後も、「森のまち」流山の魅力を活かし、地域とともに成長する持続可能なショッピングセンターづくりを推進してまいります。

■流山おおたかの森 S.C. ＜増築棟＞ 施設概要

竣工年月日	2027 年 2 月 6 日（予定）
開業年月	2027 年 3 月
事業主	東神開発株式会社
設計・監理	興和地所株式会社・共同設計株式会社　設計共同体 株式会社 NTT ファシリティーズ（設備）
施工	株式会社ナカノフドー建設 東洋熱工業株式会社（機械・空調設備） 旭日電気工業株式会社（電気設備）
従業員食堂 企画デザイン・内装デザイン	株式会社乃村工藝社
ウォールアート 企画デザイン・制作協力	株式会社乃村工藝社 IVD　-Integrated Visual Design-
主な機能	従業員食堂「MORINOWA」、屋内菜園、リサイクルステーション、 「おおたかの森 LOOP」活動拠点

■流山おおたかの森 S.C. ＜増築棟＞ 配置図



以上